

てんじ ミニ展示・・・「生きる」

じどうしつではミニ展示を行っています。今回のテーマは「生きる」。



せいめい たんじょう しんか せいめいりょく
生命の誕生・進化、生命力、
生きること…
生きるにまつわる本を集めました。

これからさまざまな展示を行います。ぜひチェックしてみてください。



みんなのとしょかん

こどもしつだより

No. 260

あげおしとしょかん

〒362-0037 上尾市上町1-7-1



めぶ 芽吹き

まだまだ寒い日が続きますが、立春がすぎると、もうすぐ春。春がくると、植物が新しい芽を出します。新しい芽は、植物が大きく育ったり、花をさかせたりするために必要です。つくし、ふきのとう、たんぽぽ…みなさんが知っている植物はありますか？

また、春ははじまりの季節ともいいます。卒園(卒業)や入学、進級の時期ですね。あたたかくなるのをきっかけに、新しいことにチャレンジしてみるのもいいかもしれません。



今回としょかんでは、「芽吹き」をテーマに、花や春、はじまりを感じさせる本を集めました。読書を通じて、花のひみつを知ったり、はじまりの季節を体験してもらえると嬉しいです。



「たけのこなんのこ？」 ひさかたチャイルド (657)



はるにおいしいたけのこについて、しゃしんでしようかいています。ほんとうにたけのこは、たけのこ〈こども〉なのかな。じめんのしたからでてくるたけのこのせいちょうするようすや、たけのこののびるひみつがわかるよ。



「木を植えた男」 ジャン・ジオ/原作 フレデリック・バック/絵 寺岡 義/訳

あすなろ書房 (Eキ)

あちひとしきうおとこ
荒れ地に、人知れず木を植えた男がいた。
いちにちこどんぐりうえぶじそだ
一日に100個のどんぐりを植え、無事に育つのが
そのぶん1ほど。時にはなえぜんめつ
その10分の1ほど。時には苗が全滅することも。
ねんいじょうわたながねんげつじぶんしごと
30年以上に渡る長き年月、ひたすらに自分の仕事
に打ち込んだ男のもたらしたものは？



「みしのたくかにと」 松岡 章子/作 大社 瑤子/絵 こくま社 (Fマツ)



まいにちべんきょうあおしろかおおうじさま
毎日勉強ばかりで青白い顔をしていた王子様。
あるおばさんの庭で「みしのたくかにと」という
たふだめおうじさま
立て札を目にします。王子様はそれが食べたいと
言いだして…。
いったいなんのことでしょう？このなぞがとけ
たときおうじさまかおいろか
たとき王子様の顔もバラ色に変わります。

「はるにあえたよ」 藤 京子/文 はた こうしろう/絵 ポプラ社 (Eハ)



マークとマータはふたごの子ぐま。はじめての冬眠から
目覚めたばかりで、まだ外に出たことはありません。ま
どの外はまだ冬だけど、お父さんが「もうすぐ春がやっ
てくるんだよ」と教えてくれました。ふたりははじめて
の春にわくわく。待ちきれなくなって、春を探しに出か
けますが…。



「ひみつの校庭」 吉野 方理子/作 宮尾 和孝/絵 学研プラス (Fヨシ)



ようたがっこうにゅうがくじぶんきそつぎょう
葉太の学校では入学すると「自分の木」を決めて、卒業
までの間観察ノートをつけることになっています。あ
る日机の奥に「自分の木」のハカラメの葉っぱを見つ
けた葉太は、観察ノートを再開します。葉太が観察ノ
トを書き終えたとき、校長先生から校庭にある秘密の
庭への鍵を手渡されて…。



「つぼみ実物大ずかん」 髙岡 蒼江/編 あすなろ書房 (470)

しょくぶつじつぶつたいしゃしんしょうかい
植物のつぼみを、実物大の写真で紹介します。

ナノハナ、アサガオ、コスモス、ラッパズイセン…。
しゅんかしゅうどうしゅるいはな
春夏秋冬18種類の花とそのつぼみが、つぼみが
ひらようすじきおお
開く様子や、さく時期・大きさのデータとともにのっ
ているよ。なかには食べられるつぼみも。
さがしてみて！

